

## 2017～2020年度 理事会新役員

Dominique Desmoulins 氏	会長 フランス・Promotelec 協会	Paul Désiré Kouenkam Nansi 氏	副会長 カメルーン・カメルーン技術センター (Technologie Zentrum)
中村秋夫氏	副会長 日本・電気保安協会全国連絡会 (Fesia)	Benoit Lavigne 氏 (代理: Guillaume Adam 氏)	フランス・IGNES
Jean-Claude Kouassi 氏 (代理: Mamadou Sylla 氏)	コートジボワール・建設・公共工事研究所 (LBTP Securel)	Alexandre Vigier 氏	ニューカレドニア・電気需要家安全地域委員会 (Cotsuel)
Jacques Wetzel 氏 (代理: Marc Maslowski 氏)	財務担当理事 フランス・電力需要家安全全国委員会 (Consuel)	El Hadji Malick Diallo 氏	セネガル・屋内電気設備品質向上協会 (Proquelec)
Pierre Selva 氏	Schneider Electric 社	Koen Van Reusel 氏	国際電気応用連盟 (UIE)
Mulianto Gultom 氏 (代理: Jhonson Martin 氏)	インドネシア・電気設備安全国家委員会 (Konsuil)	Mohamed Saizounou 氏	ベナン・国内電気設備管理協会 (Contrelec)
Philippe André 氏	名誉会長 フランス・電力需要家安全全国委員会 (Consuel)		

記事文責: FISUEL 事務局

## 中村秋夫氏が FISUEL 新副会長に就任

日本の電気保安協会全国連絡会 (FESIA) の顧問で、国際電気保安連盟 (FISUEL) 前会長、中村秋夫氏が、2017～2020 年を任期として FISUEL 副会長に選任されました。

「新会長に就任された Dominique Desmoulins 氏から信頼をお寄せいただいたことに感謝の意を表します。日本の電力会社及び電気保安団体で培った約 50 年の経験を活かして、新会長の目標の実現を全力で補佐し、FISUEL の発展と世界の電気使用者の安全向上に貢献していきたいと考えております。」

FISUEL 副会長 中村秋夫



## Marc Maslowski 氏が FISUEL 新財務担当理事に就任



FISUEL 財務担当理事 Marc Maslowski

フランス CONSUEL (電力需要家安全全国委員会) 地域統括役員の Marc Maslowski 氏が、2017～2020 年を任期として FISUEL 財務担当理事に選任されました。

Marc Maslowski 氏は、25 年以上にわたって CONSUEL の管理職を歴任し、インドネシア、サウジアラビア、ブラジル、ポルトガル、チェコ、ポーランドなどの諸外国と連携担当、2002 年の FISUEL 創立にも参画しました。期間中、諸外国から CONSUEL への派遣者の受入も担当し、自身の経験を彼らに伝授しました。

「これまでの経験を活かして、FISUEL の目的と目標の実現に積極的に貢献していきたいと考えております。2018 年からは Patrice Bukisow 氏の活動を引き継いで、欧州技術グループの議長を務めさせていただく予定です。新会長の Dominique Desmoulins 氏がおっしゃる通り、電気の安全は 1 人 1 人の責任です。FISUEL 会員の持つ豊富な経験は貴重な資産であり、世界中の人々の認識向上と電気設備の安全性の向上に大きな役割を果たすはずです。」



## Paul Désiré Kouenkam Nansi 氏が FISUEL 新副会長に就任

カメルーン・Zentrum Technology（カメルーン技術センター）ゼネラルマネージャーの Paul Désiré Kouenkam Nansi 氏が、2017 年 5 月 9 日にインドネシアで行われた総会にて、2017～2020 年の FISUEL アフリカの副会長に選任されました。

「最初に、FISUEL の創設に携わり、今日まで国際組織として育成して来られた皆様に感謝の意を表します。2010 年度総会で、ほんの小組織に過ぎなかった私たちの加盟を歓迎して下さった皆様にも厚く御礼申し上げます。その後、様々な方面での取り組みや活動への参加を通じて、正会員・賛助会員各団体の皆様に大変お世話になり、2014 年からは理事を務めさせていただくことになりました。特に新会長の Dominique Desmoulins 氏には、私のような微力な者に任期中の目標達成を共に目指す仲間としてこのような職務を任せていただき、心より御礼を申し上げます。FISUEL の世界的地位の強化に貢献し、米国に対する発言力を高め、屋内電気設備管理の義務化を実現させるべく尽力してきます。

アフリカでは、屋内電気設備の品質向上が課題になっていますが、それだけではなく、アフリカ大陸が未だに偽造品廃棄の場と化していることも明らかであり、この問題への対処も重要課題になっています。その他、以下のような事項が私の主な目標です。

- 屋内電気設備の品質向上への取り組みを継続する
- 偽造品防止活動を各国間連携で推進する
- アフリカ・ワーキンググループの強化に向けて、各国間連携による具体的活動を実施し、経験共有を促進する—今こそ、「有言」を「実行」に移す時です！
- アフリカ全域のあらゆる電気関連事業者に向けて、情報発信、意識向上、連携の働きかけを行い、新規会員の加盟を促進する

私も「電気の安全は 1 人 1 人の責任」という会長の呼びかけに賛同します。

FISUEL 副会長 Paul Désiré Kouenkam Nansi



## Électriciens sans frontières と FISUEL が提携合意

10 月 3 日、FISUEL は、公益法人として認可されている国際連帯型 NGO、Électriciens sans Frontières（国境なき電気技師団）との提携合意書に署名しました。FISUEL 会長の Dominique Desmoulins 氏は次のように語っています。

「電気の安全は 1 人 1 人の責任であり、国境や境界は存在しませんから、FISUEL が Électriciens sans Frontières のパートナーになるのはごく自然なことと感じました。今回の合意により、電気保安の世界的促進を目指す FISUEL と、災害時の電気・水供給の確保に取り組む Électriciens sans Frontières の間で提携関係が成立しました。」

Électriciens sans Frontières について：1901 年制定の法律により公益法人として認可されている国際連帯型 NGO です。必要なエネルギー供給を十分に受けられずにいる人々への開発支援、連携及び協力プロジェクトの研究、促進、実

施を活動目的としています。人道的危機にさらされている地域の人々や団体に対し、医療、教育、水供給、経済開発、災害時の緊急対応や復旧活動など、関連するサービスを組み合わせて提供し、現地のニーズの充足に貢献することを目指しています。1986 年以来、様々な団体、機関、企業等と連携しながら、Électriciens sans frontières のボランティア人員が世界中で活躍しています。それと並行して、主に辺境地域を中心に、極度の貧困、地球温暖化の影響、または人道的危機等に脅かされている人々が最低限の生活を営めるよう、必要な支援を行っています。

提供：Aude De Lavergne 氏 (Promotelec)

### 電気設備に関連する Électriciens sans frontières の小活動に関する啓発ビデオ

Électriciens sans frontières は、「すべての人々に電気を」プログラムの一環として、電気の基礎知識をご紹介する啓発ビデオを制作しました。各種の安全規則や住宅内電気配線網の管理方法に加えて、電力計の接続方法、電気ケーブルの接続方法、アース付きコンセントプラグの設置方法、ブレーカーの設置方法などを学びながら、電気配線の準備から完了、簡単な電球交換の方法に至るまで、必要な知識をすべて習得できるようになっています。

このプログラムは、非営利団体 *Électriciens sans frontières* のボランティア人員の協力を得て開発されました。電気の利用は、経済・社会の発展に欠かせない条件です。学校や病院に明かりを灯し、街路の安全を守り、飲料水の供給にも役立ちます。

右のサイトでビデオをご覧ください。 <https://www.sikana.tv/fr/diy/access-to-electricity>

提供： *Électriciens sans frontières*



## Électriciens sans frontières 「Café Lumière à Madagascar」プログラム



# CAFÉ LUMIÈRE MADAGASCAR



Café Lumière は主に太陽光発電を利用した複合サービス型エネルギー・プラットフォームです。Café Lumière Madagascar は、市場向けサービス（冷凍、食品加工、手工業等）と個人向けサービス（電話、オフィス・オートメーション、照明）の開発に加えて、国民全体の公益に資する公共サービス（市役所、学校、医療センター）への電力供給の取り組みも行っています。Café Lumière は、現地経済基盤の確立と公共サービスの促進を通じて、マダガスカルに孤立した地域の人々への持続可能なエネルギー供給に貢献することを目指しています。

現在、Vakinankaratra 地方の 6 つの村で Café Lumière Madagascar のプロジェクトを実施しており、住民約 2 万人の生活状況改善を目指す取り組みを進めています。中でも、女性、民間事業者、特定層の医療機関利用者が重点対象になっています。



**ニーズ**：マダガスカルでは、辺境地域の電気普及率（電化率）がわずか 4.8% しかなく、地方居住者 1,400 万人が現代的エネルギーを利用できない生活を強いられています。Café Lumière のプロジェクトは、電化戦略の中で忘れられた存在になっている地方住民を対象としています。この方針は、以下のような観察結果が出发点になっています。

- 住民の生活水準の低さと孤立化が原因で、電力利用が困難かつ高価なものになっている
- 現状の解決策では住民のニーズへの生産的対応が不可能である
- 過去 20 年間、公共サービス（学校、医療センター）の電化プロジェクトが思わしい成果を挙げていない

**目標**：持続可能エネルギーの利用範囲を拡大し、孤立地域の人々も利用できるようにする。現地経済基盤の確立と集团的サービスの開発を促進する。

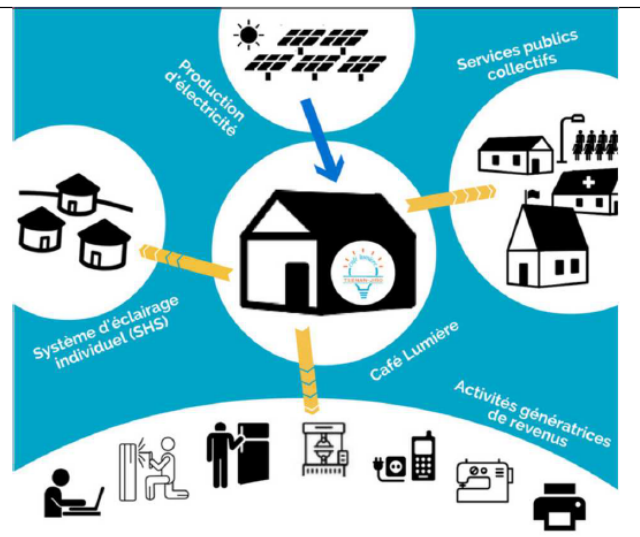
**実行策**：本プロジェクトは、現在プロジェクトの担い手になっている各参加者が並行して進めていた改革活動を統合し、次のような段階を踏んで一本化することで実現しました。

- 第一段階（*Électriciens sans frontières* が 2011 年末に着手）：孤立辺境地域への複合サービス型エネルギー・プラットフォーム導入を新たな方法で行う必要性を正式案としてまとめる。
- 第二段階：「発展途上国の孤立辺境地域へのエネルギー供給」の領域に携わる多分野の専門家や改革推進者を集めて、草の根的なワーキンググループを創設する。

**参加者・関係者**：プロジェクト参加者は、電気規制局（ORE）、各地の生活共同体、自治体等代表者、サービス事業者、小規模金融機関など、マダガスカル国内の関係者と緊密に連携しながら活動を進めていきます。

プロジェクトの主な狙いは、電力供給を受けていない村々の住民や自治体関係者と連携しながら、民間事業者が管理する複合サービス型エネルギー・プラットフォームを導入し、再生可能電気を利用して集会的インフラの使用や商業活動を可能にすることです。

電力供給需要に応える拠点として、村の中心部に建物を建設します。この建物が Café Lumière です。そこから送電線を配線し、医療センターや学校に電力を供給します。これにより、医療センターではワクチンを保管できるようになり、学校はコンピュータを使用できるようになります。これはほんの一例にすぎず、これ以外にも様々なサービスの提供、技術の導入を通じて、村民のエネルギー供給ニーズに直接応えていきます。



以下のサイトで詳細情報をご覧ください。

- [Électriciens sans frontières](https://www.electriciens-sans-frontieres.org/projet/district-dantsirabe-cafe-lumiere-plateformes-energetiques-multiservices-dans-la-region-du-vakinankaratra/) ウェブサイト：  
<https://www.electriciens-sans-frontieres.org/projet/district-dantsirabe-cafe-lumiere-plateformes-energetiques-multiservices-dans-la-region-du-vakinankaratra/>
- [Fisuel website](http://www.fisuel.org) : [www.fisuel.org](http://www.fisuel.org)

提供 : Électriciens sans frontières



## セネガル 電気設備の適合性管理を義務付ける法令が成立

セネガルで、屋内電気設備稼働開始前の適合性検査を義務付ける法令が制定されました。

帯電、感電死、火災、住宅・産業設備の劣化など、電気に起因する損害が国内で多数発生していることを受けて、セネガルのエネルギー省、内務省、都市計画省、労働省、環境省、法務省、財務省、ASN（セネガル正常化協会）、PROQUELEC（セネガル屋内電気設備品質向上協会）により、電気設備稼働開始前の適合性管理を義務付ける草案が制定されました。

この法案作成が必要になったのは、国内の電気設備が主要規格に適合しておらず、規制の対象にもなっておらず、危険な「管理不在領域」と判断されたためです。さらに、電気設備業務に誰でも自由に従事することができ、設備業者が自由放任状態で十分に組織されていませんでした。

人々や財産の安全に対する最高責任を担っているのは、国の最高権力機関である官庁等の公的機関です。従って、適合性管理が持つ重要性和意義にふさわしい措置として、それを義務付ける法令を制定するのが有効だと考えられます。

この案の受け入れを促進するため、FISUEL（国際電気保安連盟）加盟団体を参考にした比較評価と、大規模な啓発運動が2015年から実施されてきました。

この案は全般的に好意的に受け止められました。2017年6月8日にセネガル大統領が法案に署名し、「2017年法律1333号」として正式に法制化されました。これにより、セネガルでは、電力供給業者・販売事業者に対し、屋内電気設備への電力供給開始前の適合性検査が義務付けられることになりました。

提供 : Malick Diallo 氏 (セネガル Proquelec)



## セネガル—Juan Quintans 氏の謝恩送別会

Legrand 社・西アフリカ営業部長の Juan Quintans 氏が 6 年間のセネガル勤務を終えてナイジェリアに赴任することになり、2017 年 6 月 20 日（火）、同社ダカール事務所下部の方々主催による謝恩送別会が行われました。

2014 年 5 月にセネガルのダカールで FISUEL 総会が開催されて以来、Juan 氏は、電気業界関係者と共同で、前述の法案の完成と ECOWAS（西アフリカ諸国経済共同体）のフランス語圏諸国への適用拡大に向けて尽力してきました。

この功績を表して、“Sargal Juan”（ウォロフ語で「おめでとう、ありがとう、Juan さん」の意味）と題する謝恩送別会が開催され、電気業界、商工会議所、SENELEC（セネガル電力公社）、Proquelec（セネガル屋内電気設備品質向上協会）、学校、研修センター等の関係者が出席しました。セネガル全域から集まった社員や取引先の方々による感動的な謝辞に続いて、プレゼントが送られました。



FISUEL 及びセネガル電気業界関係者からは、Juan 氏のますますの活躍と、ナイジェリアの新職務での成功を願うメッセージが寄せられました。

FISUEL の活動で Juan さんに再会できる日を楽しみにしております！！！！

提供：Malick Diallo 氏（Proquelec）



## IEC（国際電気標準会議）ニュースレター—2017 年 7 月



2017 年 7 月発行の IEC ニュースレター第 37 号に、インドネシア・バリ島で開催された FISUEL 年次大会（2017 年 5 月）の記事が掲載されました。

**電気使用者の安全に関する FISUEL シンポジウム—インドネシア・バリ島、2017 年 5 月 10～11 日：**  
IEC-APRC は、2017 年 5 月 10～11 日にバリ島で開催された国際電気保安連盟（FISUEL）のシンポジウムに参加しました。シンポジウムには 10 か国以上から約 100 名が出席しました。

IEC はマレーシア工学会から共同講演者を招いて、活動の背景を紹介しました。マレーシアは IEC の国際電気規格を地域の電気設備とその使用に適用しています。講演では、安全確保に向けて IEC が果たす役割や IEC の電気設備規格を用いる利点を説明し、認知度の向上を図りました。FISUEL は電気保安の国際レベルでの促進を主な目的とする組織で、電気設備の安全レベルの向上という共通目標に向けて、国家間の連携と経験の共有を呼び掛けています。

提供：IEC



## 「住宅電気設備の世界安全性バロメーター (RESIDENTIAL WORLD SAFETY BAROMETER)」のウェブサイトについて

以前にご紹介しましたとおり、WSB ウェブサイトが FISUEL ウェブサイト (www.fisuel.org) と統合され、現在は FISUEL ウェブサイトから直接アクセスできるようになりました。

WSBの目標は、世界のあらゆる国の電気保安の状況を比較可能にし、その比較を通じて、住宅電気設備ユーザーの安全確保のために実施すべき最も望ましい方法を定めることです。比較の土台となるデータを集約し、特にその信頼性と持続可能性を高めるためには、FISUEL 会員の皆様に自国の状況に関するデータを適宜更新していただき、常に最新に保っていただく必要があります。皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。FISUEL 加盟団体が存在しない近隣諸国への働き掛けもぜひお願い致します。





現在、FISUEL の 3 地域ワーキンググループの専門家が参加して、本ウェブサイトの対象範囲を住宅以外の電気設備にも拡大する検討を進めています。その一環として、建物の種類別の比較や、特定基準による比較などの導入も検討しています。

提供：欧州ワーキンググループ



## 2018 年度 FISUEL 年次大会をコートジボワールのアビジャンで開催します 主催：LBTP SECUREL (コートジボワール建設・公共工事研究所)

		<p>LBTP の主催により、2018 年度年次大会が、2018 年 4 月 30 日～5 月 4 日にコートジボワールのアビジャンで開催されます。</p> <p>会期中、3 地域（欧州、アフリカ、アジア太平洋）ワーキンググループ会議、理事会、総会、シンポジウム、技術視察（市場の電気保安状況の視察）を実施します。</p> <p style="text-align: right;"><i>Save the dates</i></p>
<b>行事日程</b>	<p>理事会： 会期初日 4 月 30 日（月）</p> <p>3 地域ワーキンググループ会議： 2 日目 5 月 1 日（火）午前</p> <p>総会： 2 日目 5 月 1 日（火）午後</p> <p>シンポジウム： 3・4 日目 5 月 2 日（水）・3 日（木）</p> <p>技術視察： 5 日目 5 月 4 日（金）</p>	
<b>2018 年度大会テーマ</b>	「新エネルギーへの移行：再生可能エネルギー開発の現状と今後の展望」	
<b>FISUEL の主な議題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- すべての人々が安全に電気を利用できる社会づくり：住宅、第三次産業等</li> <li>- 世界各地の統計（電気に起因する火災と事故）</li> <li>- 不正製品対策（偽造品・危険製品）</li> <li>- 広報活動やその他の実績（安全性、設備業者資格認定等）</li> <li>- スラム地区の安全電化</li> </ul>	
<b>スポンサー・講演者募集</b>	<p>- 上記議題にご賛同いただけるスポンサーの方、又は上記議題に関連する講演をしていただける方は、Mamadou Sylla (<a href="mailto:msylla@lbtp.org">msylla@lbtp.org</a>) 及び Patrick Aubelis (<a href="mailto:patrick.aubelis@fisuel.org">patrick.aubelis@fisuel.org</a>) までお知らせ下さい。</p>	
<b>参加申込</b>	<p>- 参加登録・申込用書類一式を現在作成中です。</p>	

提供：Mamadou Sylla 氏（コートジボワール LBTP SECUREL）



## その他のご案内

### ニュースレター掲載記事募集

FISUEL ニュースレターの読者に紹介したい事例や話題等がございましたら、記事に写真を添えて、[fisuel@fisuel.com](mailto:fisuel@fisuel.com) まで電子メールでお送り下さい。

### 2018 年度 FISUEL 会員名簿

FISUEL 正会員・賛助会員各団体の皆様あてに、2018 年度会員名簿作成用の現状確認のお願いを送らせていただきました。

まだご返送下さっていない会員の方は、内容をご確認いただき、必要事項をご記入の上、Annie Besançon ([fisuel@fisuel.org](mailto:fisuel@fisuel.org)) までできるだけ早くご返送下さいますようお願い申し上げます。

### 2018 年度 FISUEL 年次大会日程 (予定)

アフリカ、アジア太平洋、欧州ワーキンググループ会議 (現在調整中)

2018 年度年次大会 : 2018 年 4 月 30 日~5 月 4 日 コートジボワール、アビジャンにて開催

記事文責 : FISUEL 事務局



本ニュースレターはウェブサイトでもご覧いただけます ([www.fisuel.org](http://www.fisuel.org))。

FISUEL 連絡先窓口のご案内 :

- FISUEL 宛て郵便物送付先住所 : Fisuel chez Promotelec, Tour Chantecoq, 5 rue Chantecoq, 92808 Puteaux Cedex, France
- 電子メールアドレス : [fisuel@fisuel.org](mailto:fisuel@fisuel.org) (担当 : Mrs. Annie Besançon)
- 電話番号 : + 33 (0) 9 52 19 68 75
- 本部所在地 : 21 rue Ampère, Paris, 75017, France.

